



タイトル	ホタルの里をめざして
名称・学校	高森町立高森北小学校
日時・場所等	
ホームページアドレス	

# ホタルの里をめざして

## 地域と共に ホタルの幼虫を教室で育てる

10月、高森町山吹のホタル管理委員会の方々が、源氏ホタルの幼虫を届けに来てくださいます。ホタル管理委員会とは、年々減少するホタルの復活をめざして、昭和63年からホタルの保護活動を行っている地域の方々です。ホタルの幼虫はごく小さく、カワニナをえさとし、きれいな水でしか生息することが出来ません。この幼虫を高森北小の4年生が預かり、3月に天伯峡に放流するまで教室で大切に育てます。ホタルについて学習もします。1週間に2回近所のお宅にお願いして、湧水をくませていただき、水替えをします。えさのカワニナは、ホタル管理委員会の方が折々に仕入れてくださいます。夜行性のホタルは夜になると動き回り活発にえさを食べます。無事大きくなるか、はらはらしながら成長を見守ります。ほぼ3センチ程度に成長すると、いざ、3月にはホタル水路に放流します。保育園の年長さんと一緒に川に放します。このホタルが6月になると舞い始め、管理委員会の方がホタルの発生数をカウントし、記録をとります。そして、いよいよホタル乱舞の6月、高森アピタの裏に作られたほたるパーク山吹で「天伯峡ほたる祭り」が行われます。



## 「ほたる祭り」に出演する「やまぶきホタル太鼓」

現在は、北小高学年全員でホタル太鼓を発表し、低学年は、歌を披露します。高学年になる頃には、太鼓のリズムを覚えている子ども達。地域の指導者の方にも教わりながら、高学年から低学年に教えていく太鼓です。途中「ほ・ほ・ほたるこい」と歌が入り、太鼓や樽、竹のリズムで盛り上げます。山吹は、太鼓が盛んな地域でいろいろな太鼓チームがあり、太鼓に対する熱意が感じられます。練習中にどんどん壊れていく竹や樽を修理してくれているのは用務員さんです。当日は大勢の観客にホタル太鼓や歌を聞いてもらいます。北小の子ども達が大人になる頃、山吹はホタルの里となり、ホタルを守る人になってくれることを願っています。

